

としまち研会報 第116号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

4年ぶりに神田祭が行われます

神田のお祭りは表と裏の年があり、お神輿や山車(だし)が出る“表”の年は2年に1度になります。前回“表”のお祭りが行われたのは2019年なので、その次は本来2021年でしたが、コロナ禍真っ只中で神輿の巡行など中止となりました。

そして2023年、今年の“表”のお祭りをを行うかどうかについて、神田明神は「やる」と決定しました。一方、としまち研のある東松下町を含む3町会が氏神様としてお祀りする柳森神社(創建565年)は、慎重な宮司さんがなかなか結論を出さずにいましたが、町会から強力に要請をし、やっと「やる」という結論を出してもらいました。

今年のお祭りは、5月12日(金)が前夜祭、13日(土)午前中に神輿御霊入れを行い、午後から大神輿、子供神輿、山車が町内を練り歩きます。14日(日)は朝、柳森神社にお参り、鳥居の前で町会の参加者全員で集合写真を撮ってから、午前中に神田駅東連合町会と一緒に神輿巡行をします。全体は神田明神に向かっていくのですが、東松下町のお神輿は途中で行列から離れ地元に戻ります。そして、午後は町内を練り歩いて終了します。14日(日)には模擬店も行われ、お神輿の担ぎ手の皆さん(子供も含む)に、焼きそば、フランクフルト、お弁当、飲料などが提供されます。

祭礼に向けて、3月から実行委員会が2回開催されました。更に1~2回の実行委員会を踏まえて、本番を迎えます。実行委員会では、総務、会計、神輿、子供神輿・山車担当、交通、給与など各委員会が設けられ、それぞれ役割分担をして準備し、当日を迎えます。「町会員の最大規模の交流の場」ですので、東松下町々会の会員でもあるとしまち研会員の皆さんも、ご興味がありましたら是非ご参加ください。

(としまち研理長 杉山 昇)



お祭りのポスター

おいらのひとりごと

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

「始まりの季節に」 小椋 夕子

暖かくなり街はすっかり春めいていますね。今年は桜の開花も早く花を楽しんだのも東の間、東京では早くも新緑が顔を出しています。お花見には出かけられましたか？

この時期、話題の中心はいつも桜ですが、街を歩けば梅や木蓮、チューリップなどさまざまな花が蕾を開いています。そして形や色だけでなくその咲き方もそれぞれ違ってきますよね。桜のように山盛りの花を咲かせて桜色の雨を降らせてくれる花もあれば、梅のように静かに咲いてチラチラと散る花もある。木蓮は大きく、そして美しく花を咲かせようと頑張りすぎて、ほとりと花ごと落ちてしまう。そんな木蓮の不器用な咲き方が好きだと言う変な人がいました。皆さんはどの花の咲き方がお好きでしょうか。

弊社では3月末に2名が事務所を離れることとなり、それぞれ新たな道へ一歩を踏み出しました。一緒に仕事をしてきた仲間がいなくなる寂しさはありますが、進まれた道の先で素晴らしい花が咲く姿を想像すると自分も頑張らなくてはいけません。



どうかみなさまにとっても素晴らしい始まりの季節となりますように。

*次号の「ひとりごと」は菅野 良寛さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第328回一木会（2023.3.2）

伊坂青司（いさか せいし）氏（神奈川大学名誉教授）に、テーマ「日本文化の個性～先史時代・古代に遡って～」でお話し頂きました。

現代日本文化の基礎にもなっている縄文文化・日本古来の神道・外来の仏教と神道との融合（神仏習合）など、日本文化に特徴的な個性について外国文化との対比も含め、分かりやすく解き明かして下さいました。

お話し終了後の質疑応答では会場・オンライン参加の皆さん共に多くが飛び交い、関心度マックス状態の盛況でした。また伊坂氏の丁寧な応答に感謝です。



☆第329回一木会（2023.4.6）

江嶋 裕二（えしま ゆうじ）氏（株式会社えしま代表取締役）にお話し頂きました。

“脱サラ4年目の僕が「住む町」から必要とされるためにやってきたこと”の語りはユーモア満載でした。現在江戸川区で自身の「長所にちなんだコーディネート力」を発揮し、社会貢献事業家（ビジネスアシスト・整体師）として“人やまち”とのふれあい活動に奮闘中です。リモート・会場の皆さん共、えしま情熱に包み込まれ圧倒されていました。

今回より懇親会を開催しましたので更に楽しい時は続きました。



今後の一木会予定（会場+オンライン）

☆ 2023年5月（5月11日）【第330回一木会】 ※第二木曜日です

テーマ：「不動産の有効活用に関する最近の法改正について」

ゲスト：飯塚 順子（いづか じゅんこ）氏（弁護士）

☆ 2023年6月（6月1日）【第331回一木会】

テーマ：「木造でつくる小規模な耐火建築～密集地3階建て住宅の仕様と実例～」

ゲスト：野田 明宏（のだ あきひろ）氏（住まい・まちづくりデザインワークス代表）



4月一木会・久々の懇親会で乾杯！

シェアする暮らし ～西早稲田シェアハウスの運営～

としまち研、(株)TMKサポートが西早稲田シェアハウスの運営を初めて13年目になります。ご家族のお引越しに伴い空家となった戸建住宅をなんとか活用できないかと所有者の方から相談があり、人と暮らし部会でシェアハウスとして活用することを提案し、現在に至ります。

シェアハウスとしては13年ですが、建物の竣工からは30年が経過しており、屋根、外壁、各種設備など修繕や交換のタイミングも近づいて来ています。昨年度はカーポートの屋根の修繕、換気扇の交換、掃除機やトースター、ラグマットなど、色々と備品も入れ替えました。

私が関わり出して6～7年経ちますが、入居者の方々は多彩な国籍で、色々な国の文化や考え方が学べてとても楽しいです。前回のミーティングでは、新しく入居した方にモンゴル語の書き方を教えてもらいました。3月末に中国人留学生の帰国に伴い、1室の空室が生じています。「シェアする暮らし」にご興味のある方がいらっしゃれば、是非ご紹介ください。

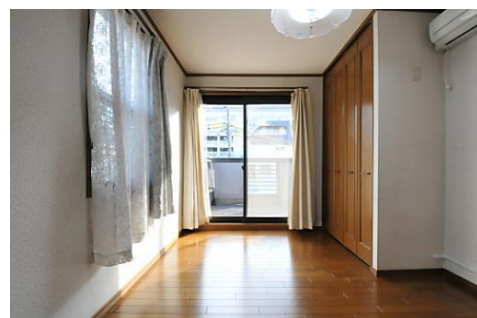
（人と暮らし部会長 五十嵐 一博）



西早稲田シェアハウス



入居者とのミーティング



現在入居者募集中の部屋

関口町ビルの再生に向けて

関口町ビル（文京区、築50年超の複合マンション）では、2017年度より管理組合で『関口町ビルの将来を考える会』を発足し、マンションの再生に向けて検討が行われています。としまち研はその2年前（2015年度）から管理規約等の改定に関わり始めたことをきっかけに、引き続き再生の検討もお手伝いしています。

2020年度からは国土交通省のマンションストック長寿命化等モデル事業に採択されて、「再生検討専門委員会」を中心に、建替えや耐震改修の可能性検討比較、組合員の情報交流会開催（年1～2回）、個別面談やアンケート調査等を行い、昨年7月の定期総会で「建替えの具体的な検討の推進に関する件（建替え推進決議）」を上程し、賛成多数で可決されました。

その後「建替計画委員会」を立ち上げ、組合員から新たなメンバーも参加して、建替え計画の具体化を進めています。4月2日（日）には約1年ぶりに情報交流会を開催して、進捗状況の報告や質疑・意見交換を行いました。昨年末より、マンション建替えの実績のある複数の会社（ディベロッパー等）に建替え計画の提案を依頼しており、まもなく提出される予定です。どんな提案が出てくるかドキドキしながら待っているところです。

（としまち研事務局 関 真弓）



関口町ビルより
神田川の桜並木

2022年度マンション再生連続勉強会を終えて

マンション再生部会における2022年度の活動の中で、「建物や設備の性能や寿命の考え方」と「マンションが被災したら」という二つのテーマを交互に各5回の勉強会（最終回は合同）を開催しました。前者は成田さんが、後者は私が中心となり、外部の専門家の方の力も借りながら進めた次第です。

さて、毛色の異なるこの二つのテーマを、しかも別々の担当が交互に運営するわけですから。両方の話を聞いていると混乱をしまいそうなおもします。しかしながら、実際には、それぞれの内容の中で相互にリンクする部分もあり、個人的にも発見が多い勉強会だったように思います。

もっとも、二つのテーマはともに奥の深い問題でもあるため、いろいろな人の話を聞くことも大切ですし、意見交換をする場を設けることも必要ではないでしょうか。そのうえで、としまち研から役に立つ情報発信をすることができるよう、今年度も精進する所存です。

（としまち研理事 大木 祐悟）

「おいらのしごと」 としまち研会員がふだんどのような仕事をしているか紹介するコーナーです。

「建築のまわりで、建築をシコウする」をVISIONに建築周辺の領域で活動する——代表の佐竹が2021年11月に立ち上げた会社も2年目に突入り、下赤塚を拠点に、全国各地で建築家との家づくりを中心に様々なサポートを行っています。建築家と家づくりをする際の総合窓口として、お金（ローン）の事、不動産の事、建築の事、ライフプラン等を一緒に考え、一生に一度の家づくりが滞りなく進むようお手伝いをするのが主な仕事です。下赤塚の事務所「佐竹邸」もまた、建築家の工藤浩平氏が設計した住宅作品で、1階が事務所兼コーヒースタンド、上階が住宅になっています。コーヒースタンドは、週2日の営業ですが、建築にまつわる展示を定期的に行いながら、気軽に立ち寄り、対話できる、キッカケの場として始めました。

私自身、(株)本間総合建築で建築設計を8年半経験させて頂き、その後設計業務から離れ早4年。沢山の建築家と協働する日々は、毎日が刺激的であると同時に、8年半の経験がお守りのように心の支えになっています。まさか自分がコーヒーをサーブしている未来は想像していませんでした笑是非お気軽にお立ち寄りください！

HP <https://arar.co.jp/> (株)アラウンドアーキテクチャー：安藤 美香



としまち研掲示板

▼ 講演会（新建主催）のご報告 ▼

「ラゲリより愛をこめて」父・山本幡男の強い信念を受け継いで“支配・収奪のない未来へ「世界文化再建」と私たちの役割”

山本厚生氏（建築家/新建全国代表幹事）の講演が2月12日(日)、板橋区立グリーンホールで開催されました。会場には150人以上が参加、空間を埋め尽くすほどの盛況でした。

山本氏も奥様のヒカルさんにしっかり見守られてのお話で素晴らしく、としまち研会議室を使用して撮影された公開PVも講演会に色どりを添えていました。

(写真は講演会場の様子)



【としまち研 第23回通常総会開催のご案内】

日時：5月25日（木）18:30～20:00

会場：COMS HOUSE 2階会議室

+オンライン（zoomミーティング）

議題：2022年度の活動報告、決算・監査報告

2023年度の活動計画、収支予算案

※議案の内容や終了後の懇親会につきましては、4月の理事会で検討後、ご案内いたします。

▼ 街祭礼でお神輿担ぎ隊 大募集！ ▼



1面巻頭記事にありますように、4年ぶりに神田祭・街祭礼が執り行われることになりました。神田のまちは徐々にお祭り色に活気づいています。

としまち研も東松下町々会で祭礼に参加します。名入りの半纏もありますので、お神輿を担いでお祭りを盛り上げていただける方はぜひご参加ください。もちろん見学も大歓迎です。

詳しくは、としまち研からのご案内をご覧ください。か、としまち研事務局までお問い合わせください。

☆祭礼行事は町会のホームページでもご覧いただけます（今後更新予定）。



▼ としまち研 部会などの開催予定 ▼

コーポラティブハウス部会	4/19(水) 18:00～
マンション再生部会	4/17(月) 16:00～
人と暮らし部会	4/17(月) 18:30～
総務広報部会	
としまち研理事会	4/26(水) 18:30～

※部会やイベント等につきましては、としまち研の会員メーリングリストで配信される案内をご確認ください。

としまち研 Instagram（インスタグラム）
フォローをお願いします！

右のQRコードを読み込んでいただくか「npo_toshimachiken」で検索すると出てきます。

☆Facebookページもあります。

としまち研HPからアクセスできます。

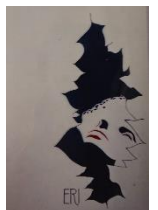


NPO_TOSHIMACHIKEN

□ 編集後記

会員の皆さま「お花見」には行かれましたか？桜は花の中でも非常にエネルギー波動が高い花です。太古の昔から私達日本には「花見」の文化がありますが、自然界と対話できる国民性は桜にエネルギーが凄いいことを知っていたのでしょね。まだの方は是非触れに出かけて下さい。葉桜も大丈夫。‘23年度2回目の発行に感謝です。ご寄稿協力ありがとうございました。

*右は私創作イラスト、タイトル「異次元空間で耳をすますと」です。貴方には何が聞こえるでしょうか！ 諏訪



〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL：03-5207-6277 FAX：03-5294-7326
E-mail：info@tmk-web.com ホム°-ヅ https://www.tmk-web.com/
Facebook：https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員50名 賛助会員24名
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 諏訪 恵里子

